

事業番号	60	事業の名称	文化事業業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	34,252	26,670	30,286	29,717	36,360
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					国費・県費	0	551	0	6,969	0	
						地方債	0	0	0	0		
						その他	16,458	20,144	16,458	13,313	15,987	
					受益者負担額	16,458	19,593	16,458	6,344	15,987		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	52事業を実施	各事業の定員充足率	72 74 100.00	%	満席を事業の成果目標とする。	43,906 44,361 48,334	39,505 43,030	事業公演委託 30,647 出演者報償費 24,600 チラシ印刷 2,787 公演撮影委託 343 看板作成委託 394 著作権使用料 181	A 維持 維持	充足率は2%アップした。クーテフェスなどが盛況だったことが挙げられる。今後も継続していく。			
② 企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	7事業を実施	各事業の延参加者数	18,548 19,479 19,000	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,000 2,000 2,000	2,100 2,000	チラシ等印刷 740 審査員等報償費 544 掲示物管理委託 416 看板作成委託 37 ほか	A 維持 維持	ながくてアートフェスティバルの参加者の増加が影響している。今後も継続していく。			
③ アートスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	長期講座13、短期講座34を開催	各事業(講座)の定員充足率	90 94 100.00	%	満席を事業の成果目標とする。	3,304 3,304 4,015	2,197 3,651	講師報償費 2,553 事業公演委託 1,032 ほか	A 維持 維持	講座はほぼ定員に達している。今後も継続していく。			
④ アウトリーチ事業	市内外の住民に	年間を通して、いろいろな場所に出向き催し物を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	ギャラリーコンサート・アートデリバリ等25回開催	各事業の延参加者数	3,833 5,467 3,900	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000 1,000 1,000	895 860	事業公演委託 500 出演報償費 360	A 維持 維持	おんぱくが町中で展開したことや小学校全6校で行われたアウトリーチ(であーと)が大幅な参加者増加を促した。今後も文化の家だけでなく町中でも継続していく。			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①~④について	外部評価により「現在の成果指標が判りにくく、文化の家事業には馴染まないもので改善すること」との指示があったことから、H27年度より事業項目や指標を大幅に変更する		

事業番号	60	事業の名称	文化事業業務		担当部署	部	課					
						くらし文化部	文化の家					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	施策の進め方	(1)文化芸術環境の発展	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					うち	一般財源	34,252	26,670	30,286	29,717	36,360
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。						国費・県費	0	551	0	6,969	0
							地方債	0	0	0	0	0
							その他	16,458	20,144	16,458	13,313	15,987
					受益者負担額		16,458	19,593	16,458	6,344	15,987	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26目標値	H26予算		H26決算	
⑤ 映像鑑賞会事業	市内外の住民に	4月~7月~10月~1月~	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした。	12回実施	各事業の定員充足率	70 81 80	%	前年実績からの10%増加	758 600 600	405 291	映像鑑賞会(有料)フィルム借上げ料291,000円	A 維持 維持	後半の数ヶ月が満席となり、前年よりもわずかながら参加者が増加した。今後も継続していく。	
⑥														
⑦														
⑧														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	